

# プリント(印刷)する

## プリント(印刷)するには

デジタルカメラで撮影した画像は、さまざまな方法でプリント(印刷)することができます。プリント方法は大きく分けて下記の3つになります。ご使用されている環境にあわせてプリントしてください。

### ■ お店でプリントする場合

DPOF 機能を利用することで、希望の画像を希望の枚数でプリントを依頼することができます。

→「DPOF 機能について」(113ページ)

### ■ カードスロット付/デジタルカメラ接続対応プリンタでプリントする場合

DPOF 機能を利用することで、希望の画像を希望の枚数でプリントすることができます。また、PictBridgeまたはUSB DIRECT - PRINT に対応しているプリンタでは、カメラを直接プリンタに接続してプリントすることができます。

→「DPOF 機能について」(113ページ)

→「PictBridge/USB DIRECT - PRINT について」(115ページ)

### ■ パソコンソフトを使用してプリントする場合

Windows では、パソコンにカメラを接続して(120ページ)、付属のソフト(Photo LoaderとPhotohands)をインストール(142ページ)することで、画像の取り込み、管理、プリントをすることができます。

→「パソコンでファイルを見る」(120ページ)

→「ソフトをインストールする」(142ページ)

**重要!** • パソコンの接続方法、ソフトのインストール方法については上記のページをご覧ください。操作手順に従ってください。

Macintosh では、パソコンにカメラを接続して(126ページ)、付属のソフト(Photo Loader)をインストール(142ページ)することで、画像の取り込み、管理ができます。ただし、プリントはできません。市販のプリント用ソフトをご利用ください。

→「パソコンでファイルを見る」(120ページ)

→「ソフトをインストールする」(142ページ)

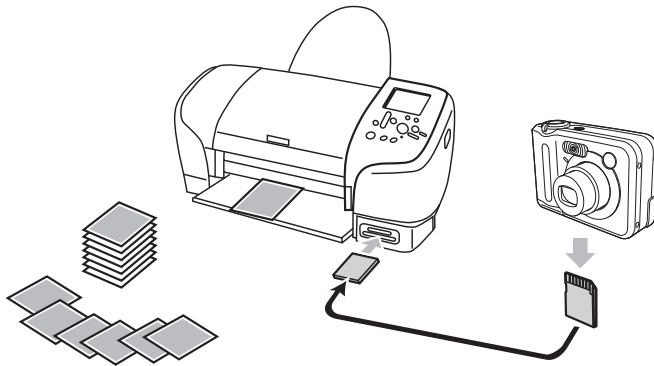
**重要!** • パソコンの接続方法、ソフトのインストール方法については上記のページをご覧ください。操作手順に従ってください。

## DPOF機能について

DPOF(Digital Print Order Format)とはデジタルカメラで撮影した中からプリントしたい画像や枚数などの設定情報をメモリーカードなどの記録媒体に記録するためのフォーマットです。DPOF対応の家庭用プリンタやサービスラボでプリントすることができます。本機では撮影された画像ファイル名などを意識することなく、【液晶モニター】で確認しながらプリントしたい画像の設定を行うことができます。



- 設定可能な内容  
画像／枚数／日付



## 1 画像単位で印刷設定する


1. PLAYモードにして【MENU】を押します。
2. “再生機能”タブ→“DPOF”  
と選び、【▶】を押します。





3. 【▲】【▼】で“選択画像”を選び、【▶】を押します。
4. 【◀】【▶】で印刷したい画像  
を表示させます。



5. 【▲】【▼】で印刷する枚数を決めます。
  - 印刷設定できる枚数は99枚までです。印刷したくない場合は“00”にしてください。

6. 日付を印刷したい場合は、【DISP】を押してを表示させます。

- は日付印刷が設定されたことを表します。
- 日付が不要なときは、【DISP】を押してを消してください。
- 他の画像を印刷する場合は、操作4～6をくり返してください。

7. 【SET】を押します。

- 印刷する枚数が設定されます。


## 全画像に印刷設定する


1. PLAYモードにして【MENU】を押します。
2. “再生機能”タブ→“DPOF”と選び、【▶】を押します。
3. 【▲】【▼】で“全画像”を選び、【▶】を押します。

4. 【▲】【▼】で印刷する枚数を決めます。

- 印刷設定できる枚数は99枚までです。印刷したくない場合は“00”にしてください。



5. 日付を印刷したい場合は、【DISP】を押してを表示させます。

- は日付印刷が設定されたことを表します。
- 日付が不要なときは、【DISP】を押してを消してください。

6. 【SET】を押します。

- 印刷する枚数が設定されます。

- 重要!**
- お店にプリントを注文する場合は、注文時に「DPOF でプリントする画像、枚数、日付を設定済みです」とお伝えください。お伝えいただかないと、すべての画像がプリントされてしまうことがあります。
  - プリントをするお店によってはDPOF 機能に対応していない場合がありますので、あらかじめご確認ください。
  - プリンタによっては日付の設定が無効になったり、DPOF に対応していない場合がありますので、プリンタの取扱説明書に従って操作してください。

## PictBridge/USB DIRECT - PRINTについて

本製品はPictBridgeまたは、USB DIRECT - PRINT対応プリンタに直接接続し、デジタルカメラのモニター上で写真選択や印刷開始を指示することができます。DPOF機能(113ページ)で登録した画像も印刷することができます。

本製品は下記の規格に対応しています。

- PictBridge(ピクトブリッジ) :  
カメラ映像機器工業会(CIPA)制定の規格です。
- USB DIRECT - PRINT :  
セイコーエプソン株式会社提唱の規格です。

- 重要!**
- PictBridge/USB DIRECT-PRINTで印刷する場合、別売のACアダプター(AD-C30)を使用することをおすすめします。

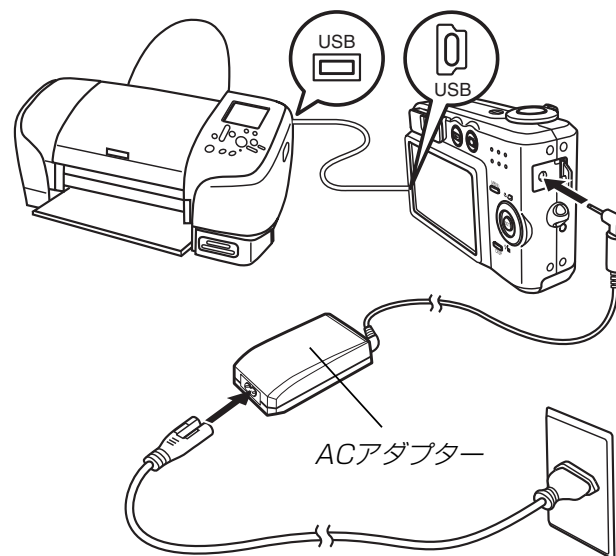


## 1枚ずつプリントする

1. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。
2. “設定”タブ→“USB”と選び、【▶】を押します。
3. 【▲】【▼】で使用するプリンタにあわせて設定を選び、【SET】を押します。
  - Mass Storage (USB DIRECT - PRINT) :  
ご使用のプリンタがUSB DIRECT - PRINT対応の場合、こちらを選びます。パソコンにカメラを外部記憶装置として認識させる方法です。通常、パソコンへの画像の保存の操作時はこちらを選んでください。
  - PTP (PictBridge) :  
ご使用のプリンタがPictBridge対応の場合、こちらを選びます。画像データを外部接続機器に簡単に転送するための接続方法です。

## 4. 別売のACアダプターをカメラに接続して、カメラに電源を供給します。

- 電池を使用する場合は、電池残量が十分な電池をカメラにセットしてください。
- USBケーブルからは電源は供給されません。



5. カメラに付属のUSBケーブルでカメラとプリンタを接続します。

6. プリンタの電源を入れます。

7. プリンタの印刷用紙をセットします。

8. カメラの【電源ボタン】を押します。

- カメラにプリントメニュー画面が表示されます。



9. 【▲】【▼】で“用紙サイズ”を選び、【▶】を押します。

10. 【▲】【▼】でプリントする用紙サイズを選び、【SET】を押します。

- 用紙サイズは次の通りです。  
L判、2L判、はがき、A4、Letter、プリンタで設定
- “プリンタで設定”を選ぶと、プリンタ側で設定した用紙サイズでプリントされます。
- 用紙について設定できる内容は、接続したプリンタによって異なります。詳しくはプリンタの取扱説明書をご覧ください。

11. 【▲】【▼】で“1枚プリント”を選び、【SET】を押します。

- 【◀】【▶】でプリントしたい画像が選べます。
- 【DISP】を押すことで日付設定の入／切を切り替えることができます。☑️を表示させると、日付がプリントされます。



12. 【▲】【▼】で“プリント”を選び、【SET】を押します。

- プリントを開始すると“処理中です しばらくお待ちください”と【液晶モニター】に表示されます。しばらくすると表示が消えますが、印刷は終了していません。カメラの何かボタンを押すことで、プリントの状況を【液晶モニター】に再表示させることができます。
- プリントが終了すると、プリントメニュー画面が表示されます。
- もう一度印刷する場合は、手順8から同様の操作を行ってください。

13. 印刷が終了したら電源が切れますので、カメラをUSBケーブルから取りはずしてください。

## まとめてプリントする

1. DPOF 機能(113ページ)で、印刷したい画像をあらかじめ指定します。
2. 「1枚ずつプリントする」(116ページ)の手順1から10まで操作します。
3. 【▲】【▼】で“DPOF”を選び、【SET】を押します。
4. 【▲】【▼】で“プリント”を選び、【SET】を押します。
  - プリントを開始すると“処理中です しばらくお待ちください”と【液晶モニター】に表示されます。しばらくすると表示が消えますが、印刷は終了していません。カメラの何かボタンを押すことで、プリントの状況を【液晶モニター】に再表示させることができます。
  - プリントが終了すると、プリントメニュー画面が表示されます。
  - DPOF機能で指定した画像が自動的に印刷されます。
5. もう一度印刷する場合は、手順3から同様の操作を行ってください。
  - DPOFの設定をしていない場合はメッセージが表示され、DPOFの設定画面(113ページ)が表示されます。このときは、DPOFの設定を行ってから、もう一度プリントの操作を行ってください。

6. 印刷が終了したら電源が切れますので、カメラをUSBケーブルから取りはずしてください。

## プリントについてのご注意

- 印刷品位や用紙の設定についてはプリンタの取扱説明書をご覧ください。
- PictBridgeやUSB DIRECT-PRINT対応プリンタの機種名やプリンタのバージョンアップ等については、プリンタメーカーへお問い合わせください。
- 印刷中はケーブルを抜いたり、カメラの操作を行わないでください。プリンタがエラーを起すことがあります。

## PRINT Image MatchingⅢについて

本製品はPRINT Image MatchingⅢに対応しています。PRINT Image MatchingⅢ対応プリンタでの出力及び対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。



PRINT Image Matching及びPRINT Image MatchingⅢに関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。

## Exif Printについて

Exif Print (Exif2.2) は、対応プリンタをお使いの場合に画像ファイルに記録された撮影情報を印刷出力に反映させることを可能にします。



**重要!** • Exif Print対応プリンタの機種名やプリンタのバージョンアップ等については、各プリンタメーカーへお問い合わせください。



# パソコンでファイルを見る

このカメラは、USBケーブルを介してUSB端子を備えたパソコンと接続して、パソコンでファイルを見たり、保存することができます。USB接続を行うには、使用するパソコンによっては付属のCD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)からUSBドライバをパソコンにインストールする必要があります。

## お持ちのパソコンがWindowsの場合

パソコンにファイルを取り込むためには次の手順で操作します。

1. Windows98/Me/2000を使っている場合はUSBドライバをパソコンにインストールする。
  - 初めて使用するときだけが必要です。
  - Windows XPの場合はインストールの必要はありません。



2. カメラとパソコンをUSBケーブルで接続する。



3. 画像ファイルを見る／コピーする。

具体的な操作方法は以降に記載されていますので、手順に従って操作してください。また、接続するパソコンの取扱説明書もあわせてお読みください。

- 重要!**
- パソコンと通信を行う際、電池残量の少ない電池で本機を使用しますと、画像データを通信中に電源が切れる可能性があります。パソコンとの通信には、専用ACアダプター(別売品)を使用することをおすすめします。
  - 内蔵メモリーに保存されているファイルデータをパソコンに転送する場合は、カメラからメモリーカードを取り出した状態でUSBケーブルを接続してください。

USBドライバをインストールする前に、カメラをパソコンに接続しないでください。パソコンがカメラを認識しなくなります。

- Windows 98/Me/2000をお使いの場合は、USBドライバのインストールが必要です。この場合、インストール前にカメラをパソコンに接続しないでください。
  - Windows XPをお使いの場合は、USBドライバのインストールは不要です。
- 1. Windows98/Me/2000をお使いの場合は、操作2へ進んでください。WindowsXPをご使用の場合は、USBドライバをインストールする必要はありませんので、操作6に進んでください。**
    - この操作手順はWindows98をもとに制作されています。
  - 2. 付属のCD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)をパソコンのCD-ROMドライブにセットします。**

### **3. MENU上の「日本語」をクリックします。**

- MENU上の「English」をクリックすると英語版のソフトをインストールすることができますが、通常は日本語版のソフトのみをインストールしてください。

### **4. 「USB driver」の「インストール」をクリックします。**

- インストールが開始されます。

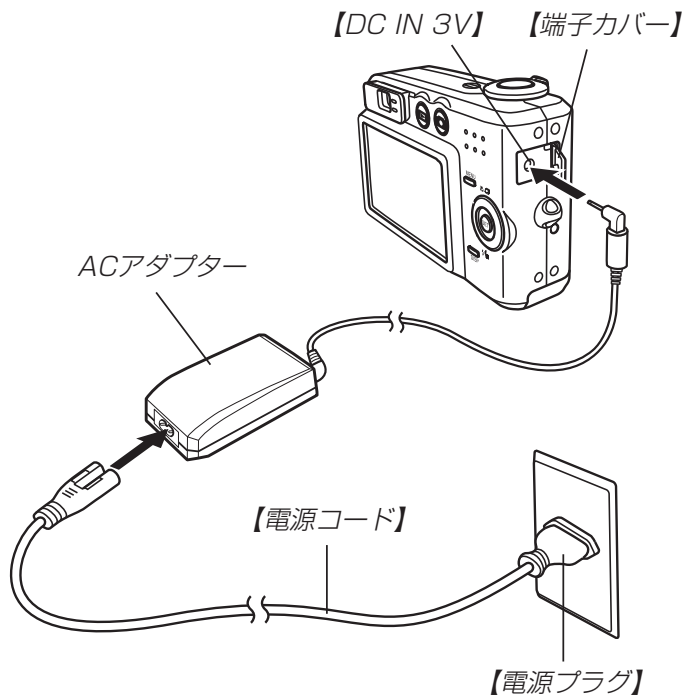
### **5. セットアップ完了の画面が表示されたら「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」をチェックして「完了」をクリックし、パソコンを再起動させます。**

- 再起動時には、付属のCD-ROMをパソコンにセットしたままにしておいてください。

## パソコンでファイルを見る

### 6. 別売のACアダプター(AD-C30)をカメラの【DC IN 3V】と家庭用コンセントに接続します。

- 電池を使用する場合は、電池残量が十分な電池をカメラにセットしてください。



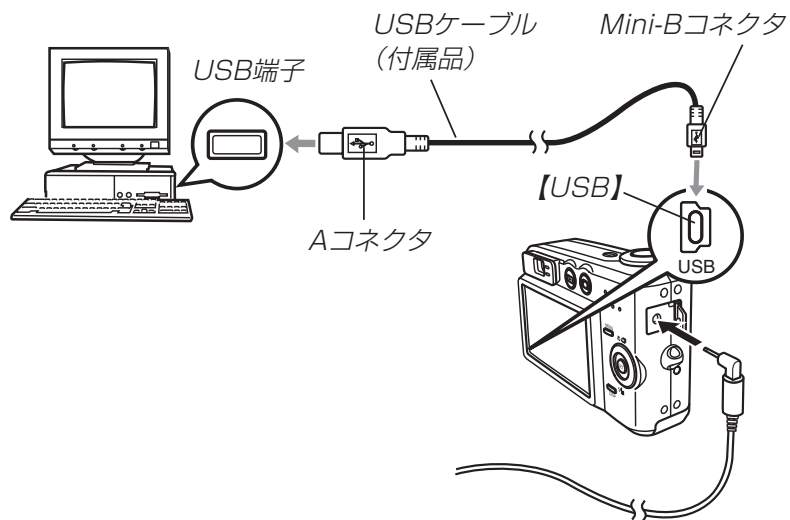
### 7. カメラの電源を入れ、【MENU】を押します。

- USB接続は、RECモードでもPLAYモードでも可能です。

### 8. “設定”タブ→“USB”と選び、【▶】を押します。

### 9. 【▲】【▼】で“MassStorage”を選び、【SET】を押します。

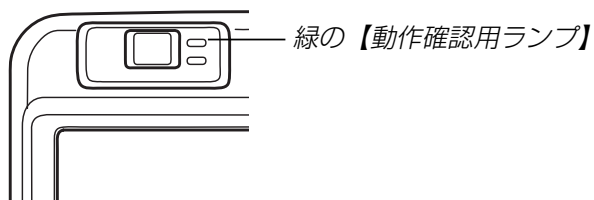
### 10. カメラの電源を切り、付属のUSBケーブルでカメラとパソコンのUSB端子を接続します。



- USBケーブルをパソコンとカメラに接続するときは、それぞれの機器のUSB端子の形状とケーブルの接続端子の形状を合わせて接続してください。
- USBコネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されないと、正常に動作しません。

### 11. カメラの電源を入れます。

- 「新しいハードウェア…」とダイアログが表示され、自動的にカメラ内のメモリーカードまたは内蔵のメモリーが認識されます。次回からはパソコンとカメラをUSBケーブルを介して接続するだけで、カメラ内のメモリーカードまたは内蔵メモリーを認識します。
- カメラの緑の【動作確認用ランプ】が点灯します(151ページ)。



- パソコンのOSの環境によっては、「リムーバブル ディスク」ガイダンスが表示されることがあります。この場合は、ガイダンスを閉じてください。

### 12. 「マイコンピュータ」をダブルクリックします。

- Windows XPでは、画面上的「スタート」→「マイコンピュータ」の順でクリックします。



Windows 98の場合



Windows XPの場合

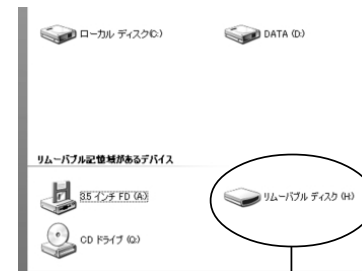
### 13. 「リムーバブルディスク」をダブルクリックします。

- メモリーカードまたは内蔵メモリーは、「リムーバブル ディスク」として認識されています。



リムーバブルディスク

Windows 98の場合



リムーバブルディスク

Windows XPの場合

### 14. 「Dcim」フォルダをダブルクリックします。

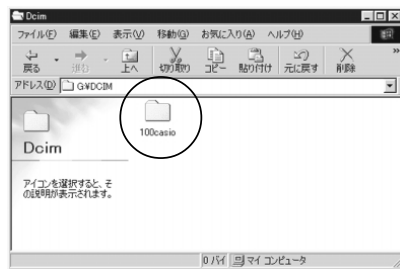


Dcim  
Windows 98の場合

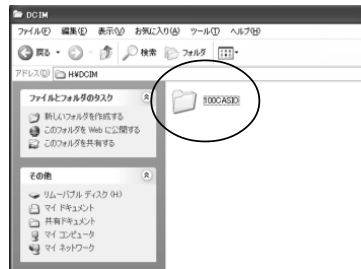


Dcim  
Windows XPの場合

### 15. 見たい画像の入ったフォルダをダブルクリックします。

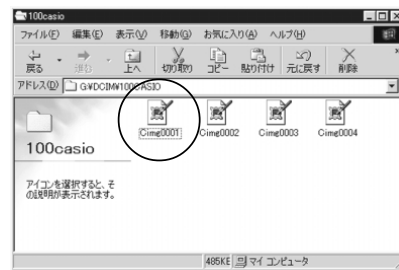


Windows 98の場合



Windows XPの場合

### 16. 見たい画像ファイルをダブルクリックして、画像を見ます。



Windows 98の場合



Windows XPの場合

- ファイル名については「メモリー内のフォルダ構造」(132ページ)を参照ください。

### 17. ファイルを保存する場合は、次のように操作します。

#### ■ Windows 98/2000/Meの場合：

- ①「リムーバブルディスク」内の「Dcim」フォルダを右ボタンでクリックします。
- ②メニューの「コピー」をクリックします。
- ③「マイドキュメント」をダブルクリックして開きます。
- ④「マイドキュメント」のメニューで「編集」→「貼り付け」の順でクリックします。

－これで「Dcim」フォルダ(画像ファイルが保存されているフォルダ)が「マイドキュメント」フォルダにコピーされます。

**■ Windows XPの場合：**

- ①「リムーバブルディスク」内の「Dcim」フォルダを右ボタンでクリックします。
  - ②メニューの「コピー」をクリックします。
  - ③「スタート」→「マイドキュメント」の順でクリックします。
  - ④「マイドキュメント」メニューで「編集」→「貼り付け」の順でクリックします。
- －これで「Dcim」フォルダ(画像ファイルが保存されているフォルダ)が「マイドキュメント」フォルダにコピーされます。

**重要!** ●カメラ内やメモリーカード内の画像に対して、パソコンで修正、削除、移動、名前の変更などを行わないでください。パソコンで修正、削除、移動、名前の変更などを行った場合は、画像管理データと整合性がとれず、カメラで再生できなくなったり、撮影枚数が極端に変わったりします。修正、削除、移動、名前の変更などはパソコンにコピーした画像で行ってください。

**18. USB接続を終わめます。****■ WindowsMe/98/XPの場合：**

カメラの【電源ボタン】を押して、緑の【動作確認用ランプ】が消灯したのを確認してから、カメラを取りはずします。

**■ Windows2000の場合：**

パソコン画面上のタスクトレイのカードサービスを左クリックし、カメラに割り当てられているドライブ番号の停止を選択します。その後、カメラを取りはずし、カメラの電源を切ります。

## USB接続時のご注意

- パソコンのモニターに同一の画像を表示して放置しておくことはお止めください。残像現象(画面焼け)を起す場合があります。
- 通信中にケーブルを抜いたり、カメラの操作を行わないでください。データが破壊される恐れがあります。

## お持ちのパソコンがMacintoshの場合

Macintoshにファイルを取り込むためには次の手順で操作します。

**重要!** • Mac OS 8.6以前、またはMac OS Xの10.0ではご使用できません。Mac OS 9、X(10.1、10.2、10.3)では、OS標準のUSBドライバが使用できません。

1. カメラとMacintoshをUSBケーブルで接続する。



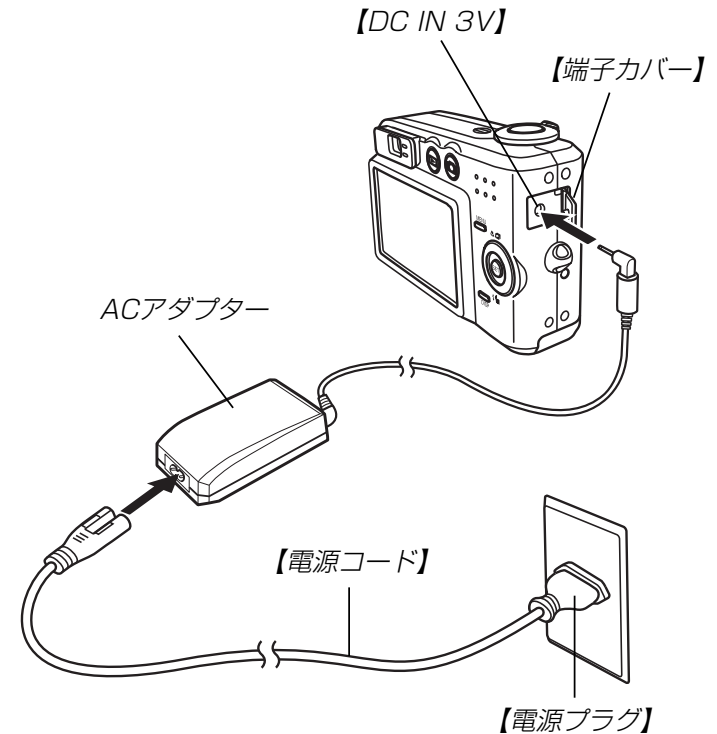
2. 画像ファイルを見る／コピーする。

具体的な操作方法は以降に記載されていますので、手順に従って操作してください。また、接続するパソコンの取扱説明書もあわせてお読みください。

- 重要!**
- パソコンと通信を行う際、電池残量の少ない電池で本機を使用しますと、画像データを通信中に電源が切れる可能性があります。パソコンとの通信には、専用ACアダプター(別売品)を使用することをおすすめします。
  - 内蔵メモリーに保存されているファイルデータをパソコンに転送する場合は、カメラからメモリーカードを取り出した状態でUSBケーブルを接続してください。

**1. 別売の ACアダプターをカメラの【DC IN 3V】と家庭用コンセントに接続します。**

- 電池を使用する場合は、電池残量が十分な電池をカメラにセットしてください。





## パソコンでファイルを見る

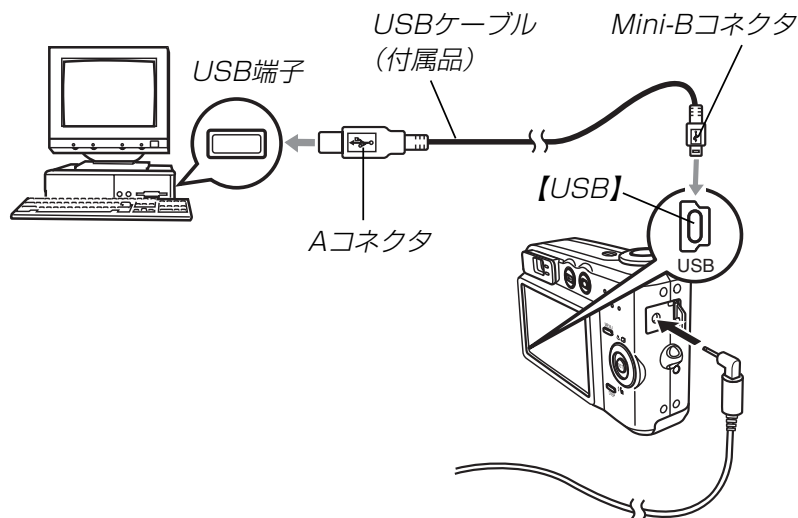
### 2. カメラの電源を入れ、【MENU】を押します。

- USB接続は、RECモードでもPLAYモードでも可能です。

### 3. “設定”タブ→“USB”と選び、【▶】を押します。

### 4. 【▲】【▼】で“Mass Storage”を選び、【SET】を押します。

### 5. カメラの電源を切り、付属のUSBケーブルでカメラとパソコンのUSB端子を接続します。



- USBケーブルをパソコンとカメラに接続するときは、それぞれの機器のUSB端子の形状とケーブルの接続端子の形状を合わせて接続してください。
- USBコネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されないと、正常に動作しません。

### 6. カメラの電源を入れます。

- カメラ内のメモリーカードまたは内蔵メモリーがドライブとして認識されます。
- Mac OS のバージョンにより、表示されるアイコンが異なる場合があります。
- 次回からはMacintoshとカメラをUSBケーブルを介して接続するだけで、カメラ内のメモリーカードまたは内蔵メモリーをドライブとして認識します。



7. 表示されたドライブ→「DCIM」フォルダ→見たい画像の入ったフォルダの順でダブルクリックします。

8. 見たい画像ファイルをダブルクリックして、画像を見ます。

- ファイル名については「メモリー内のフォルダ構造」(132ページ)を参照ください。

9. ファイルを保存する場合は「DCIM」フォルダを保存したいフォルダにドラッグアンドドロップします。

- 「DCIM」フォルダがMacintosh内のフォルダにコピーされます。

**参考** • ドラッグアンドドロップとは、マウスのポインタ(矢印)が画像ファイルのアイコン上に重なった状態でマウスのボタンを押し、そのままマウスを移動(ドラッグ)させて、別の場所でマウスのボタンを離す(ドロップ)操作のことをいいます。

**重要!** • カメラ内やメモリーカード内の画像に対して、パソコンで修正、削除、移動、名前の変更などを行わないでください。パソコンで修正、削除、移動、名前の変更などを行った場合は、画像管理データと整合性がとれず、カメラで再生できなくなったり、撮影枚数が極端に変わったりします。修正、削除、移動、名前の変更などはパソコンにコピーした画像で行ってください。

10. USB接続を終えるには、画面上のカメラのドライブをゴミ箱へドラッグアンドドロップします。その後、カメラをUSBケーブルから取りはずし、カメラの電源を切ります。

## USB接続時のご注意

- パソコンのモニターに同一の画像を表示して放置しておくことはお止めください。残像現象(画面焼け)を起す場合があります。
- 通信中にケーブルを抜いたり、カメラの操作を行わないでください。データが破壊される恐れがあります。

## パソコンでいろいろなことができます

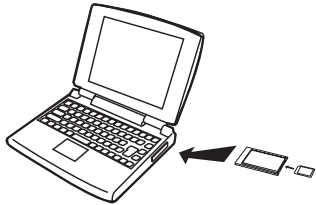
撮影画像をパソコンでさまざまに活用することができます。活用方法については、下記のページを参考にしてください。

- アルバム形式で見たい  
.....「アルバム機能を使う」(135ページ)
- アルバム形式で印刷したい  
.....「アルバム機能を使う」(135ページ)
- 画像を自動取り込み／管理したい  
.....「ソフトをインストールする」(142ページ)を参照して、Photo Loaderをインストールしてください。
- 画像をレタッチ(加工)したい  
.....「ソフトをインストールする」(142ページ)を参照して、Photohandsをインストールしてください。

## メモリーカードを直接接続して取り込む

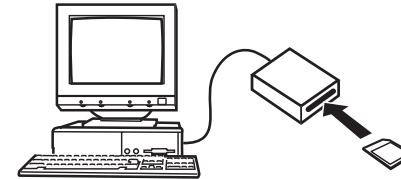
パソコンとのファイルのやりとりをメモリーカードから直接行うことができます。パソコンの機種によって接続方法が異なります。代表的な接続方法は次の通りです。

- SDメモリーカードスロットのある機種  
SDメモリーカードを直接差し込みます。
- PCカードスロットのある機種  
市販のPCカードアダプター(SDメモリーカード/MMC用)を使用します。  
具体的な使用方法是PCカードアダプターとパソコンに付属の取扱説明書を参照ください。

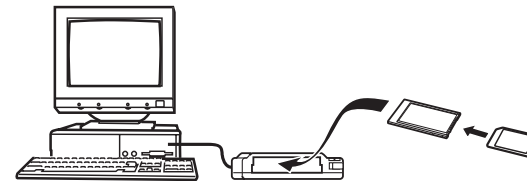


### • 前記以外の機種

- 1) 市販のSDメモリーカード用リーダー/ライターを使用します。  
具体的な使用方法是SDメモリーカード用リーダー/ライターに付属の取扱説明書を参照ください。



- 2) 市販のPCカード用リーダー/ライターと市販のPCカードアダプター(SDメモリーカード/MMC用)を使用します。  
具体的な使用方法是PCカード用リーダー/ライターとPCカードアダプターに付属の取扱説明書を参照ください。



## メモリー内のデータについて

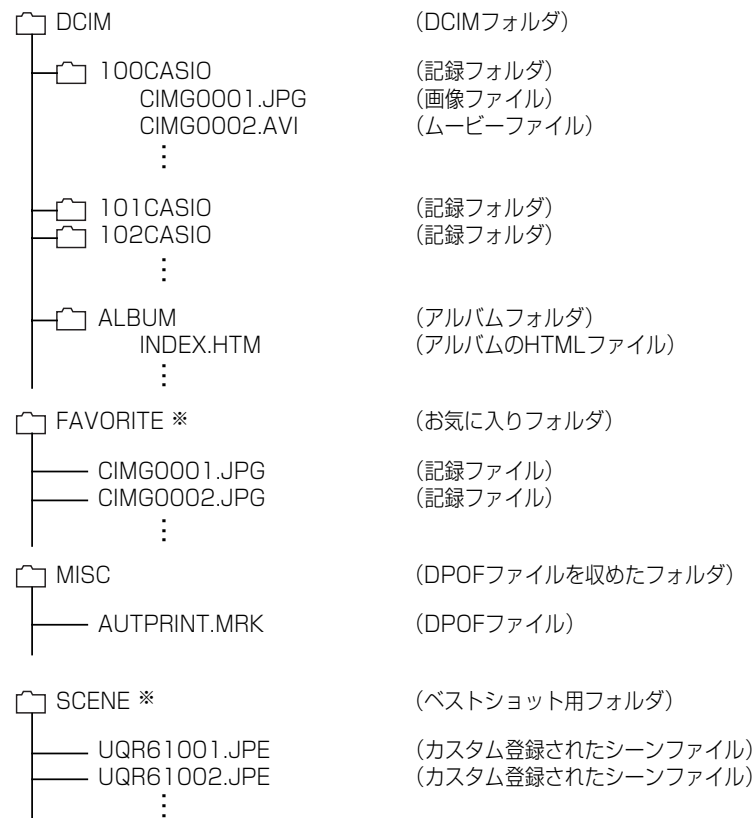
本機で撮影された画像やその他のデータは、DCF(Design rule for Camera File system)規格に準拠した方法でメモリーへ保存されます。DCF規格とは、画像ファイルと画像に関連するファイルをデジタルカメラと関連機器の間で簡単に交換することを目的とした規格です。

## DCF規格について

DCF規格対応の機器(デジタルカメラやプリンタなど)の間で画像の互換性があります。画像ファイルのデータ形式やメモリー内のフォルダ構造に規定がありますので、本機で撮影した画像をDCF規格対応の他社のカメラで見たり、この規格対応の他社のプリンタで印刷したりすることができます。逆にDCF規格対応の他社のデジタルカメラの画像も本機で見ることができます。

## メモリー内のフォルダ構造

### ■フォルダ構造



※ 内蔵メモリー内にのみ作成されるフォルダです。

## ■ フォルダ／ファイルの内容

- DCIMフォルダ  
デジタルカメラで扱うファイルすべてを収めたフォルダです。
- 記録フォルダ  
デジタルカメラで記録したファイルを収めたフォルダです。
- 画像ファイル  
デジタルカメラで撮影した画像ファイルです。  
拡張子は「JPG」です。
- ムービーファイル  
デジタルカメラで撮影したムービーファイルです。  
拡張子は「AVI」です。
- アルバムフォルダ  
アルバム機能で使用するファイルを収めたフォルダです。
- アルバムのHTMLファイル  
アルバム機能で使用するファイルです。拡張子は「HTM」です。
- お気に入りフォルダ  
お気に入りの画像ファイルを収めたフォルダです。  
320×240pixelsの画像として収められています。
- DPOFファイルを収めたフォルダ  
DPOFファイルなどを収めたフォルダです。
- ベストショット用フォルダ(内蔵メモリーのみ)  
カスタム登録されたシーンファイルを収めたフォルダです。
- カスタム登録されたシーンファイル(内蔵メモリーのみ)  
ベストショットモードで使用されるファイルです。

## このデジタルカメラで扱える画像ファイル

- 本機で撮影した画像ファイル
  - DCF規格に対応している画像ファイル
- ※ DCF規格の画像ファイルでも、使用できない機能がある場合があります。また、本機以外で撮影された画像の場合、再生にかかる時間が長くなる場合があります。

## パソコン上で内蔵メモリー／メモリーカードを扱うときのご注意

- メモリーの内容をパソコンのハードディスクやCD-R、MOディスクなどに保存する際は“DCIM”フォルダごと保存してください。その際“DCIM”フォルダの名前を年月日などに変えておくと、あとで整理するときに便利です。ただし、パソコンのハードディスクなどに保存したファイルを再度メモリーに戻して本機で再生する場合は、フォルダ名をパソコン上で“DCIM”に戻してからご使用ください。本機では“DCIM”以外の名前のフォルダは認識されません。“DCIM”フォルダ内の他のフォルダ名を変えた場合も同様です。元の名前に戻してから使用してください。

# パソコンでファイルを活用する

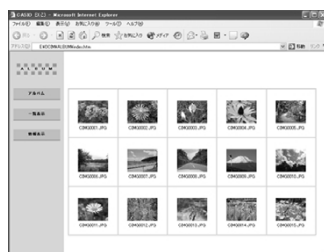
アルバム機能を使用するとパソコンにアルバム形式で画像を表示させることができます。また、付属のCD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)内に収録されているソフトウェアをインストールすることで、パソコンでのファイルの自動取り込みや画像のレタッチをすることができます。

## アルバム機能を使う

アルバム機能とは、本機で撮影した画像をレイアウトしたHTMLファイルを作成し、ホームページ上で一覧表示したり、印刷することができる機能です。



アルバム



一覧表示



情報表示

- 本機で作成したアルバムは、次のWebブラウザで見たり、印刷することができます。ただし、Windows 2000/98で動画を再生する場合はDirect Xが必要です。

Microsoft Internet Explorer Ver 5.5以上

## アルバムを作成する

- 重要!** • アルバムを作成すると“ALBUM”フォルダ(132ページ)が作成され、同じ画像データが複数枚メモリー内に保存されてしまいます。“ALBUM”フォルダを残したまま、お店にプリントを注文したり、プリンタですべての画像を印刷しようとする、小さくリサイズされた同じ画像が複数枚印刷されてしまう場合がありますので、ご注意ください。アルバム機能を使用しない場合はアルバムを消去(142ページ)することで、上記の問題を解消することができます。

### 1. PLAYモードにして【MENU】を押します。



2. “再生機能”タブ→“アルバム作成”と選び、【▶】を押します。



レイアウト見本

3. 【▲】【▼】で“作成”を選び、【SET】を押します。

- アルバムの作成を開始し、“処理中です しばらくお待ちください”と表示します。
- アルバムの作成が終了すると、アルバム作成メニューに入る前の画面に戻ります。
- アルバムを作成すると、内蔵メモリーまたはメモリーカード内の“ALBUM”フォルダの中に“INDEX.HTM”ファイル、その他アルバム用のファイルが作成されます。

- 重要!**
- アルバム作成中に次の操作を行うと、アルバム用のファイルが作成されないばかりでなく、画像データ等のメモリー内のデータが破壊される恐れがあります。アルバム作成中は、下記の操作は絶対に行わないでください。
    - 【電池カバー】を開ける
    - メモリーカードを抜く
    - その他異常操作
  - アルバム作成中にメモリーが一杯になったときは、“メモリーがいっぱいです”と表示した後、アルバムの作成を中止します。
  - 電池が切れかかっているときは、アルバムが正常に作成されない場合があります。
  - アルバムの詳細設定で“自動作成”をする／しないのどちらかに設定していても、【SET】を押すと、アルバムの作成を自動的に開始します(139ページ)。
  - 作成された“ALBUM”フォルダ(132ページ)内の画像は、カメラで見ることにはできません。

## アルバムのレイアウトを選ぶ

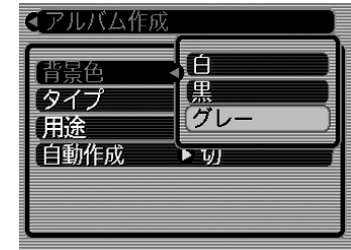
10種類のレイアウトの中から、表示したときのレイアウトを選ぶことができます。

1. PLAYモードにして【MENU】を押します。
2. “再生機能”タブ→“アルバム作成”と選び、【▶】を押します。
3. 【▲】【▼】で“レイアウト”を選びます。
4. 【◀】【▶】で表示したいレイアウトを選びます。
  - 【◀】【▶】を押すと、画面右横のレイアウト見本が切り替わります。

**重要!** • レイアウト見本上に表示されるのはアルバムのレイアウトおよび背景色です。一覧／情報表示付きかどうかや用途の内容(閲覧／WEB／プリント)は表示されません。

## アルバムの詳細を設定する

1. PLAYモードにして【MENU】を押します。
2. “再生機能”タブ→“アルバム作成”と選び、【▶】を押します。
3. 【▲】【▼】で“設定”を選び、【▶】を押します。
4. 【▲】【▼】で設定項目を選び、【▶】を押します。
  - 各設定項目の設定内容につきましては、以降をご覧ください。
5. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。



### ■ 背景色を選ぶ

アルバムの背景色を白／黒／グレーの中から選ぶことができます。

- 背景色を選ぶと、一つ前の画面で表示されていたレイアウト見本上に選んだ色が表示されます。

### ■ タイプを選ぶ

アルバムのタイプを、標準タイプと一覧／情報付きタイプに切り替えることができます。

- 標準タイプ                   : 選んだレイアウトに従って画像を表示するタイプです。
- 一覧／情報付きタイプ : アルバム表示の他、画像の簡単な一覧表示や撮影時の情報を同時に表示できるタイプです。

### ■ 用途を選ぶ

閲覧： 簡易画像でアルバム表示されますので、簡単に画像を確認したりホームページ上で素早く閲覧したい場合に便利です。また、画像をクリックすると、大きな画像が表示されますので、細部を確認したり、画像を1枚ずつきれいに印刷したい場合にお使いください。AVI ファイルをクリックすると動画を再生します。CD-R などにコピーして配布するときなどに最適です。

WEB： 簡易画像でアルバム表示され、簡単に画像を確認したり、ホームページ上で素早く閲覧したい場合に便利です。“DCIM”フォルダ内にあるデータ量の少ない“ALBUM”のみで動作しますので、特にインターネットで利用するとき素早くアップロードできます。ただし、画像の拡大や動画の再生はできません。

プリント： 詳細画像でアルバム表示するため、アルバムをきれいに印刷したい場合にお使いください。ただし、表示するのに時間がかかる場合があります。また、画像の拡大や動画の再生はできません。

## ■ 自動作成をする／しないを設定する

アルバム用のファイルを、電源を切ったときに自動的に作成するかどうかを設定することができます。

入：電源を切ったとき、内蔵メモリーまたはメモリーカード内にアルバム用のファイルを自動的に作成します。

切：電源を切ったとき、アルバム用のファイルを自動的に作成しません。

- 重要!**
- 自動作成を“入”に設定している場合、電源を切ると【液晶モニター】は消灯しますが、緑の【動作確認用ランプ】は数秒間点滅しています。この間はアルバム用のファイルを作成していますので、下記の操作は絶対に行わないでください。
    - －【電池カバー】を開ける
    - －メモリーカードを抜く
    - －その他異常操作

- 参考**
- 自動作成を“入”に設定すると、電源を切るときにアルバム用のファイルを作成するため、メモリー内の画像枚数に応じて、電源が切れるまでの時間が長くなります。もし、アルバム機能を使用しない場合は、自動作成を“切”に設定することをおすすめします。“切”に設定すると電源が切れるまでの時間が短くなります。

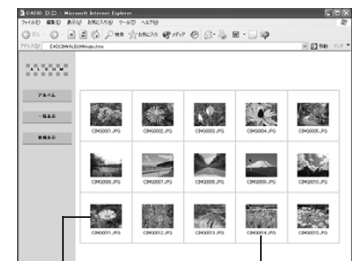
## アルバムファイルを見る

アルバムファイルはパソコンで使用しているWebブラウザで見たり、印刷することができます。

1. 内蔵メモリーまたはメモリーカード内のデータをパソコンに読み込むか、メモリーカードをパソコンに接続します(120、131ページ)。
2. 内蔵メモリーまたはメモリーカード内の“DCIM”フォルダの中の“ALBUM”フォルダを開きます。
3. “INDEX.HTM”ファイルをWebブラウザで開きます。

- 内蔵メモリーまたはメモリーカード内のフォルダの画像が一覧表示されます。

一覧／情報付きタイプの場合



画像

ファイル名

## パソコンでファイルを活用する

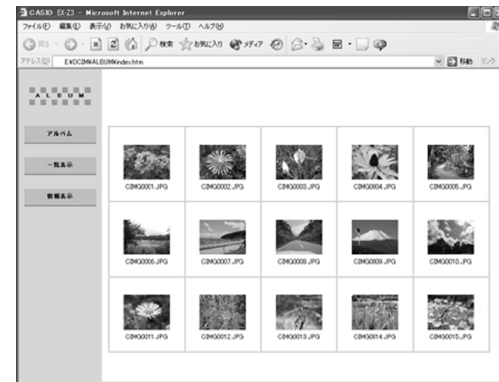
### 4. 一覧／情報付きタイプでアルバムを作成した場合は、インターネットのホームページを見る要領で下記の部分をクリックして操作します。

アルバム：カメラで作成したアルバムが表示されます。

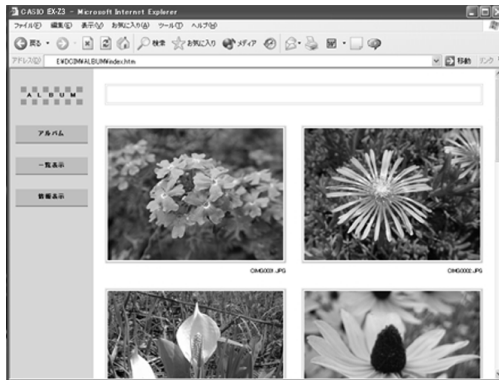
一覧表示：フォルダ内の画像の一覧が表示されます。

情報表示：各画像の情報が表示されます。

- 用途を“閲覧”に設定しているとき、パソコン上に表示されている画像をダブルクリックすると、撮影したサイズそのままの大きさの画像が表示されます。



一覧表示



アルバム



情報表示

- 表示される画像情報の内容

ファイルサイズ  
 画像サイズ  
 撮影画質  
 撮影モード  
 露出モード  
 測光方式  
 シャッタースピード  
 絞り  
 露出補正  
 測距方式  
 AFエリア  
 フラッシュモード  
 シャープネス  
 彩度  
 コントラスト  
 ホワイトバランス  
 感度  
 フィルター  
 色強調  
 フラッシュ光量  
 デジタルズーム  
 訪問先  
 撮影日時  
 モデル名

**参考**

- アルバム部分を印刷する場合は、Webブラウザの設定を下記のようにしておくことをおすすめします。
  - アルバムが表示されているフレームを選択する。
  - なるべく余白を少なくする。
  - 背景の色を印刷可能な設定にする。
- 印刷や設定のしかたについては、Webブラウザの取扱説明書をお読みください。
- アルバム内容の編集(タイトルやコメントの入力など)は、カメラで行うことはできません。編集したいときは、市販のHTMLファイルが編集できるソフトをお使いください。

**5. アルバムを終了するには、Webブラウザを終了してください。**

## アルバムを保存する

- 内蔵メモリーまたはメモリーカード内の“DCIM”フォルダごとパソコンのハードディスクやCD-R、MOディスクなどに保存してください。“ALBUM”フォルダだけでは、必要なファイルが保存されませんのでご注意ください。保存後は“DCIM”内のファイルを更新したり消去しないでください。新たに画像を加えたり、消去したりすると、アルバムが正常に表示されなくなることがあります。
- メモリーカードを再びデジタルカメラで使用するときは、以前のファイルをすべて消去するか、フォーマットしてから使うことをおすすめします。ただし、フォーマットすると、メモリー内のデータはすべて消えます。
- “用途”の設定を“WEB”にした場合は“ALBUM”フォルダのみでもアルバムを見ることができます。データ量が少ないので、素早くインターネットにアップロードすることができます。

## アルバムを消去する

1. PLAYモードにして【MENU】を押します。
2. “再生機能”タブ→“アルバム作成”と選び、【▶】を押します。
3. 【▲】【▼】で“消去”を選び、【SET】を押します。
  - アルバムが消去され、PLAYモードに戻ります。

## ソフトをインストールする

本機には、パソコンで画像を活用するための便利なソフトが付属しています。目的に応じてソフトをインストールしてください。

### 付属のCD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)について

付属のCD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)には、以下のソフトウェアが収録されています。各ソフトの内容を確認し、必要に応じてソフトをパソコンにインストールしてください。

#### USBドライバ(マストレージ) (Windows用)

デジタルカメラとパソコンをUSB接続するためのソフトです。

※ Windows XPではCD-ROM内のUSBドライバをインストールしないでください。USBケーブルでパソコンと接続するだけで、USB通信ができます。

### Photo Loader(Windows用/Macintosh用)

デジタルカメラからパソコンに画像を自動的に取り込むことができます。取り込んだ画像は年月日のフォルダ単位で管理し、カレンダー形式で検索できるHTMLファイルを自動作成しますので、Webブラウザを使用して画像を閲覧することができます。また、画像を手軽にメールに添付(Windows用のみ)することができます。

※ Photo Loaderの操作方法に関する説明は、電子文書(PDFファイル)化され、付属のCD-ROM内に収録されています。

### Photohands(Windows用)

画像のカラー、コントラスト、明るさなどの調整(レタッチ)、サイズや向きの変更ができます。印刷または撮影日付を付けて印刷することもできます。

※ Photohandsの操作方法に関する説明は、電子文書(PDFファイル)化され、付属のCD-ROM内に収録されています。

### Direct X(Windows用)

デジタルカメラで撮影した動画ファイルを、Windows 98/2000で扱うためのコーデックが含まれる機能拡張ツールです。Windows XP/Melにはインストール不要です。

### Adobe Reader(Windows用)

電子文書化されたPDFファイルを読むためのソフトです。CD-ROM内に収録されているPhoto Loader、Photohandsの取扱説明書を読むために使用します。

※ Photo Loader、Photohandsの取扱説明書をパソコンのディスプレイ上で表示する方法は、「取扱説明書(PDFファイル)を読む」(146、148ページ)をお読みください。



## パソコンの動作環境について

使用するソフトによって、必要な動作環境が異なりますので、必ず確認してください。

### Windows

	USBドライバ*1	Photo Loader	Photohands
OS	XP**2/2000/ Me/98	XP/2000/ Me/98	XP/2000/ Me/98
メモリ	—	16MB以上	64MB以上
HD	—	約7MB以上	約10MB以上

- ※ 1.Windows 2000の場合は、専用ドライバに代えてOS標準ドライバを使用するための情報ファイルとなります。  
Windows 95/3.1からWindows Me/98に、Windows 95/NTからWindows 2000にバージョンアップしたパソコンでは動作保証いたしません。
- ※ 2.Windows XPでは、OS標準のUSBドライバを使用します。新たなインストールは不要です。

### Macintosh

	Photo Loader
OS	9
メモリ	32MB以上
HD	約3MB以上

- USB接続は、Macintosh OS 9/10.1/10.2/10.3で可能です。標準搭載のドライバで動作しますので、そのままUSBケーブルでカメラとパソコンを接続してください。

- 重要!**
- Windowsの詳しい動作環境については、付属のCD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)内の「お読みください」ファイルを参照して、確認してください。
  - Macintoshの詳しい動作環境については、付属のCD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)内の「CD-ROMの使いかた」ファイルをブラウザソフトでご覧ください。
  - 付属のCD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)は、Mac OS X(10.0)には対応していません。

## インストールする

付属のCD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)に収録されているソフトウェアを、パソコンにインストールします。

- 参考**
- すでにパソコンにソフトウェアをインストールしている場合は、バージョンを確認してください。もしもバージョンが古い場合は、古いバージョンのソフトウェアをアンインストールした後、新しいバージョンのソフトウェアをインストールしてください。
  - CD-ROMには日本語と英語のアプリケーションが搭載されていますので、必要な言語の方をインストールしてください(2重インストールには対応していません。)

## Windows

---

### ■ 準備

1. パソコンを起動させ、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れると、MENUが自動的に起動します。
  - パソコンの設定によっては自動的にMENUが表示されない場合があります。その場合は、CD-ROMが割り当てられているドライブを開き、MENU.exeをダブルクリックして起動させてください。

## 2. “Language”の「日本語」をクリックします。

- 英語のアプリケーションソフトをインストールしたい場合は「English」をクリックしてください。

### ■ 「お読みください」を読む

インストールする前に、必ずインストールするアプリケーションソフトの「お読みください」をお読みください。インストールするために必要な条件や動作環境が書かれています。

1. インストールしたいアプリケーションソフトの「お読みください」をクリックします。

## ■ ソフトのインストール

1. インストールしたいアプリケーションソフトの「インストール」をクリックします。
2. 手順に従ってインストールします。

- 重要!** • Photo Loaderのバージョンアップ、再インストールやパソコンを変更する場合で、以前使用していたライブラリ情報を継続させる方法については、「お読みください」をご覧ください。手順通りにインストールしないと、以前のライブラリ管理情報やカレンダー形式のHTMLファイルがPhoto Loaderで見ることができなくなるばかりか、取り込んだ画像ファイルが消失する恐れがあります。
- Windows XP以外では、USBドライバをインストールする前に、パソコンとカメラを接続しないでください。

## ■ 取扱説明書(PDFファイル)を読む

1. “取扱説明書”のお読みにになりたいアプリケーションソフトの名前をクリックします。

- 重要!** • 取扱説明書をお読みにするには、パソコンにAdobe Readerがインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、「ソフトのインストール」でAdobe Readerをインストールしてください。

## ■ ユーザー登録をする

パソコンからインターネットを通してのみ、ユーザー登録をすることができます。ユーザー登録をするには、パソコンがインターネットに接続されている必要があります。

※ 会員制Webサイト「QVNet」(179ページ)へのユーザー登録となります。ユーザー登録で登録いただいた個人情報のお取り扱いに関しては、Webサイト上の「QVNetをご利用になる前に」に記載されておりますので、ご確認をお願い致します。ユーザー登録はデジタルカメラ本体や付属ソフトのバージョンアップのご連絡その他情報発信を目的としております。付属ソフトウェアについては、ユーザー登録をしなくてもインストールや使用は可能です。

### 1. 「オンラインユーザ登録」をクリックします。

- Webブラウザソフトが起動し、ユーザー登録が可能になります。画面の指示に従ってユーザー登録を行ってください。

### 2. ユーザー登録が終了したら、インターネットの接続を終了してください。

## ■ 終了

### 1. 「終了」をクリックします。

- MENUを終了します。

## Macintosh

## ■ 「CD-ROMの使いかた」を読む

インストールする前に、必ず「CD-ROMの使いかた」をお読みください。

1. 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
2. CD-ROM内の「CD-ROMの使いかた」ファイルを開きます。

## ■ ソフトのインストール

インストールする前に、インストールするアプリケーションソフトの「はじめにお読みください」を必ずお読みください。インストールするために必要な条件や動作環境が書かれています。

1. 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
2. CD-ROM内の「CD-ROMの使いかた」ファイルを開きます。
3. 「ソフトウェアについて」をクリックします。
4. インストールするソフトウェア名をクリックし、インストール方法を確認します。
5. 手順に従ってインストールします。

**重要!** • Photo Loaderのバージョンアップ、再インストールやパソコンを変更する場合で、以前使用していたライブラリ情報を継続させる方法については、「お読みください」ファイルをご覧になり、手順をご確認願います。手順通りにインストールしないと、以前のライブラリ管理情報やカレンダー形式のHTMLファイルがPhoto Loaderで見ることができなくなるばかりか、取り込んだ画像ファイルが消失する恐れがあります。

## ■ 取扱説明書(PDFファイル)を読む

1. 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
2. CD-ROM内の「CD-ROMの使いかた」ファイルを開きます。
3. 「取扱説明書を読む」をクリックします。
4. 読みたいソフトウェア名をクリックし、取扱説明書を表示させます。

**重要!** • 取扱説明書をお読みになるには、パソコンに Adobe Readerがインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、アドビ システムズ(株)のホームページより Adobe Reader をダウンロードして、Adobe Readerをインストールしてください。

## ■ ユーザー登録をする

パソコンからインターネットを通してのみ、ユーザー登録をすることができます。QVNet(179ページ)にて登録を行ってください。

※ 会員制Webサイト「QVNet」(179ページ)へのユーザー登録となります。ユーザー登録で登録いただいた個人情報のお取り扱いに関しては、Webサイト上の「QVNetをご利用になる前に」に記載されておりますので、ご確認をお願い致します。ユーザー登録はデジタルカメラ本体や付属ソフトのバージョンアップのご連絡その他情報発信を目的としております。付属ソフトウェアについては、ユーザー登録をしなくてもインストールや使用は可能です。